

赤雪山～仙人ヶ岳山行報告

【山行日】2021年 12月 19(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 1,000円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、
飯口、植竹、嶋田、関、津佐、廣瀬

【コースタイム】岩舟支所P6:00＝メモリアル広場

P7:10/7:30～赤雪山 9:00/9:10～原仁多ノ頭 9:40

～県界尾根 10:40～仙人ヶ岳 11:30/12:00～

熊の分岐 12:40～知ノ岳分岐 13:00～

湖畔キャンプ場 13:40～メモリアル広場

14:10/14:20＝岩舟支所P15:30



山行アンケートで赤雪山のリクエストがあり、赤雪山だけでは物足りないので仙人ヶ岳まで周遊コースを登る計画にした。岩舟支所を6時に出発し国道50号線を進み、県道松田・葉鹿線を通って松田ダムに向かう。松田ダムのダムサイトにあるメモリアル広場に駐車し、トイレを済ませてストレッチを行ったら出発する。駐車場から左に湖畔に沿って道路を進み、案内板がある尾根コース登山口から登山道に入る。植林帯の中に付けられたジグザグの道を登ると、尾根上に出て北に赤雪山に向かって登るようになる。尾根を真っ直ぐ進むと、やがて491mピークに出て小休止し衣服調整をする。

一旦緩やかに下り、鞍部からは赤松や広葉樹の

明るい尾根を登って行く。緩やかな松の尾根を抜けて丸太の階段を登り、自然林の道を歩くようになる。平坦な尾根からさらに丸太の階段を登ると、まもなく東屋やベンチがある赤雪山山頂に着く。

東屋で休憩を取り、リンゴや菓子をいただきながら展望を楽しむ。山頂標識で記念写真を撮ったら、仙人ヶ岳へ向かって出発する。

赤雪山から北側に延びる尾根をアップダウンを繰り返し進み、登り返したピークから北西に向かって下る。鞍部からさらに登り返し、北側が植林帯南側は自然林の尾根を西に向かって進む。やがて標識が立つ大きなピークに着くが、ここが585mの原仁多ノ頭で小休止する。ここからも西に向かって尾根のアップダウンが



続き、樹林が切れると男体山や日光白根山を望むことが出来る。登りはきつく会話が途切れるが、下りになると賑やかな声が聞こえる。

ようやく県界尾根に出て、南西に尾根を辿ると623mのピークに着く。休憩を取りミカンや菓子を食



べていると、若い夫婦が追い越して行った。ゆっくり休憩を取り、疲れた足を休めたら出発する。ここからは県界尾根を南に向かって進むが、本日のコース中一番きつい場所である。時折樹間から赤城山が望め、雪化粧した山々に疲れが癒される。いくつものピークを越えるたび足に疲労が蓄積し、登りがきつくなってくる。今年入会した2人に「ここで頑張らないと夏の大きな山に登れないよ！」と励ましながらか登って行く。大きな岩を左に巻くように登り、急登を頑張って登ると

仙人ヶ岳への分岐に出る。分岐を右に登ると手前のピークに出て、平坦な尾根を西に進むと大きな標識が立つ仙人ヶ岳山頂に着く。標識の前で記念写真を撮って、山頂で昼食を食べる予定だったが、先客のパーティが食事中なので先の尾根まで進みランチタイムとする。倒木のベンチに腰掛け、定番のキノコうどんを作りおにぎりといいただく。ランチが済み下山の準備をしていると、若い女性に「写真を撮っていただけますか？」と声を掛けられる。

山頂まで一緒に戻り、連れの2人と山頂標識の前で写真を撮ってあげた。下山は県界尾根分岐まで戻り、分岐を直進して熊の分岐に向かって尾根を下って行く。自然林の中明るい尾根を歩き、景色を楽しみながら気持ちよく歩ける。

山火事後の若松の間を下ると、岩切からの登山道が合わさる熊の分岐に着く。

分岐を直進し展望が良い尾根を進み、登り返したピークが知ノ岳で松田ダムの展望が良い場所だ。小休止して展望を楽しみ、水分を補給したら

ダムに向かって下山する。知ノ岳から30mほど進むと松田ダムへの小さな標識があり、左の尾根を下って行く。右手に松田ダムを見ながら尾根を軽快に下り、標識が立つ小さな岩のピークから右に急斜面を下って行く。踏み跡程度の歩きにくい道だが、植林帯に入ると急斜面にはトラロープが付けられていた。お助けロープやストックを頼りに慎重に下り、森林伐採用に付けられた道に出る。すぐに沢に出て対岸に渡り、沢沿いに付けられた細い道を下るとキャンプ場の一角に出る。

キャンプ場を横切り、駐車場で最後の休憩を取り残ったおやつをいただいた。ロングトレイルを歩き切り、皆さん笑顔で今日の山行を振り返っていた。湖畔に付けられた道路を歩き、赤雪山登山口を過ぎるとメモリアル広場に戻った。靴を履き替えてトイレを済ませたら帰路につき、予定通り岩舟支所に帰着した。

